

全国農業教育新聞

第1号

発行所
全国高等学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20

民の希いは 繁栄の 歴史新たに おこるとき
進む技術の研鑽に 喜び集う 農場協会

第600号 令和3年10月1日
(年4回発行)

全国大会挨拶

全国高等学校農場協会

会長 荻塚 光信



皆さんこんにちは。全国高等学校農場協会会長の荻塚です。よろしくお願いたします。

本日は、衆議院議員 あべ俊子様と文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室長 林 正敏様のご臨席を賜り誠にありがとうございます。そして、オンラインにてご参加いただきました衆議院議員 石破 茂様、衆議院議員 西岡秀子様、農林水産省経営局就農・女性課課長 平山潤一郎様ありがとうございます。猛威を振るう新型コロナウイルスは、収まる心配がありませんが、各学校の先生方におかれましては、農

場管理や実習等、大変なご苦労が生じていることとご推察いたします。

令和3年度第70回全国大会並びに研究協議会は、本来であれば星稜会館で全国の会員の先生方に集まっていたが、盛大に開催したところでありますが、このコロナ禍の状況下にあることから、検討を重ねた結果、オンラインによる開催とさせていただきます。

本協会は、ご承知のように昭和27年に結成され、今年で70年目を迎えます。この間、一貫して農業教育の振興・発展に努め、農場施設・設備の拡充および農業教員の待遇改善への取り組み。そして農業教育の研究活動を推進し、農業高校の充実・発展に貢献してまいりました。今後も設立の意義を継承し、「会員のための組織」として、本協会が堅固な全国組織であり続けるために、全力で責務を果たしてまいりたいと考えております。

さて、わが国の農業は、農業後継者不足をはじめ農

業従事者の高齢化、耕作放棄地の増大、自給率の低下など様々な問題が生じております。農業後継者の育成が急務であります。農業関連産業等への人材輩出も農業高校の役割であると思っております。近年、農業高校の生徒数が減少傾向にある中で、女子の入学する比率が増えており、令和元年度の比率は48.9%で、平成11年度と比べ、10.3ポイント増加しています。この要因としては、農業高校において、栽培技術の学習だけでなく、加工・販売など、女子に人気の高い職業に関連する、幅広い科目を設定する学校が増えていること。そして学校内にとどまらず、より実践的に地域農業を学ぶ授業や、校内で生産された農産物の6次産業化に取り組む学校が多くなってきたりすることが考えられます。このように、農業高校は時代の変化とともに、関連学科の設立や地域の活性化に取り組んでまいりました。又、今年の夏に行われようとしているオリンピック・

パラリンピックに向け、多くの学校でGAP教育に取り組む、安心・安全な農産物生産が行われるようになってまいりました。これは、先生方の努力の成果であります。時代に対応した教育を実施していくことが、農業高校で学ぶ生徒にとつて、大きな力となっていくことと思っております。

これからの時代は、AIやIoTが発達する中で、スマート農業など新たな技術を使いこなせる農業技術者の育成が求められています。農場協会といたしましても、農業教育の方向性



農食環境学群
循環農学類
食と健康学類
環境共生学類

獣医学群
獣医学類
獣医保健看護学類

生きるを学ぶ。学びが生きる。
酪農学園大学

を見極めつつ、様々な教育活動を支援できるような活動を進めてまいりますので、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

最後になりますが、令和2年度末に国から大きな補正予算が生まれ、手を上げる学校という形ではありませんが、文部科学省も農林水産省も農業高校の後押しをしてきています。これらのことは農場協会から、全国の農業関係高校の施設・設備の老朽化の現状を訴え、農林水産高校を応援する会のご支援によって得られたものであると思っております。

これからも農場協会をよろしくお願いいたします。

〈総会議案議決〉

議事

(1) 第1号議案
令和2年度事業報告並びに決算承認

(2) 第2号議案役員改選

(3) 第3号議案
令和3年度事業計画並びに予算議決

(4) 第4号議案

会費の取り扱いについて右記の議案について原案通り承認されました。

第15回 農林水産高校を応援する会

司会 上月良祐事務局長
(1) 全国高等学校農場協会より要望聴取

①施設・設備の充実、②農業教員の養成
③産業教育手当の継続的支給の3点について具体的に要望及び状況説明が行われました。

(2) 各省庁からの説明

①総務省
昨年度に地方団体向けに全国会議や事務連絡において地方交付税措置を充実したことを周知した。この中で、産業教育施設整備の充実について触れている。

②文部科学省

新学習指導要領におけるスマート農業の取り扱いの説明及び農業高校におけるスマート農業・林業の好事例を紹介と、マイスター・ハイスクールの説明があった。要望については、申請された県について昨年度補

正予算を計上し、ほぼ実現された。

③農林水産省

教員研修や教育コンテンツの充実など、スマート農
教員研修や教育コンテンツ
林水産業の人材育成にあたって、文部科学省と連携し、必要な予算を計上している。

(3) 意見交換

オンラインによる多くの議員の参加を受け、その中で吉川議員(三重・参)から文科省からの補正予算0を受けて三重県議会で、議員連盟を設立し、**農業高校と県議連が連携して働きかけ**をしたいと報告を受けた。

(4) 石破 茂会長挨拶

今後スマート農業を進め、農業所得を上げる方策を取らなければならない。選択的拡大がキーポイントとなる。

令和3年度 役員紹介

本部役員

会長 菲塚 光信
(埼玉県・秩父農工科学高校)
副会長 並川 直人
(東京都・園芸高校)
副会長 小堀 卓二

(東京都・農芸高校)
副会長 吉野 剛文
(東京都・瑞穂農芸高校)

副会長 藤野 康之
(栃木県・真岡北陵高校)

副会長 橋本 智
(栃木県・宇都宮白楊高校)

振興局長 篠原 祐治
(東京都・農芸高校)

広報局長 江森 忍
(東京都・農業高校)

研究局長 大坂 操
(東京都・青梅総合高校)

事務局 須賀 秀次
(東京都・青梅総合高校)

支部長 須賀 秀次
北海道支部長 川添 雅文
(北海道・大野農業高校)

東北支部長 佐々木 篤
(青森県・三本木農業高校)

関東支部長 西尾 眞一
(静岡県・磐田農業高校)

北信越支部長 小橋 政勝
(富山県・小矢部園芸高校)

近東支部長 狩谷 弘
(和歌山県・南部高校)

中国支部長 立原 祐二
(島根県・出雲農林高校)

四国支部長 佐藤 智子
(徳島県・城西高校神山校)

九州支部長 渡邊 能久
(長崎県・島原農業高校)

乳加工機器 クリームセパレーター・バターチャン



株式会社三研
03-6450-0327



「食」「環境」「人」の分野のプロフェッショナルを育成します

環境園芸学部
環境園芸学科
人間発達学部
子ども教育学科

健康栄養学部
管理栄養学科
食品開発科学科



南九州大学
MINAMI KYUSHU UNIVERSITY

都城キャンパス: 〒885-0035 宮崎県都城市立野町37-64
宮崎キャンパス: 〒880-0032 宮崎県宮崎市南島5丁目1-2
お問い合わせ [企画広報課(宮崎キャンパス)]

0120-3739-20

http://www.nankyudai.ac.jp

南九州大学 検索